

地域金融機関、新聞社等と連携した地域DX推進体制の構築・拡充

実施体制

(下線: 代表機関)

(株) ふくいのデジタル、(一社) Community Future Design、
(株) 電通総研、クロススポーツマーケティング(株)

支援地域

福井県
南越前町

伴走事業の概要

福井県は平均寿命および健康寿命の全国順位の低下等に対し、医療・健診データに基づく要因分析や有効な施策の提案ができるDX人材が不足しており、人口密度や医療機関が少ない地域において健康管理の支援が行き届いていない。

- 市町保険者の医療・健診データの可視化、データ分析ノウハウを福井県庁に蓄積することを通じて、データに基づく健康施策立案を可能にするための伴走支援を実施。また、南越前町において、ウェアラブルデバイスにより睡眠・活動データを取得・分析することで、**パーソナライズ化した健康管理**を実現するとともに、**医療・健診データとの連携**を図る。
- 福井県DX推進協議会を活用し、地域DX推進体制を拡充しつつ、地域の課題や長所を十分に理解する地場産業を推進役として、データ利活用やプロジェクトマネジメント等、DX全般の知見・ノウハウを、**県・市町のDX担当部局に蓄積**する。

現状・課題

- 福井県において、平均寿命および健康寿命の相対的な全国順位の低下等に対し、データに基づく有効な健康施策の立案提案ができていない。
- 人口密度が低く、医療機関が少ない市町にあっては、DXの活用による地域住民のきめ細かな健康管理が求められる。

住民



- ✓ 人口密度、医療機関が少ない地域において健康管理の支援が行き届いていない。

↑ 各種案内、健康サポート等

町役場



- ✓ 管轄区域の広さ、保健師などの専門人材が不足により、住民へのきめ細かなサポート体制が行き届かず、**DXによる効率化が必要**

↑ 健康施策等

福井県庁



- ✓ データに基づく分析・施策提案のための**DX人材・ノウハウが不足**。
- ✓ **県および市町の連携体制**に課題。

対応

- 医療・健診データの可視化・分析、**データに基づく健康施策立案の実現**に向け、福井県に対する伴走支援を実施。
- データに基づく健康施策に加え、**住民ごとにパーソナライズ化したきめ細かな健康管理**を実現するため、ウェアラブルデバイスで取得した睡眠・活動データの分析等を南越前町で実施。
- 健康管理に限らない**産業等に関するDX教育**(講習会)を実施。

【データ分析を通して県・町が獲得すること】



- ✓ データ管理・分析ノウハウ
- ✓ DX教育を行うノウハウ
- ✓ DXを推進する体制構築

【実証事業を通して獲得すること】



- ✓ 検診データとウェアラブルデバイスで取得したデータの組み合わせにより、きめ細かな健康サポートを行うことができる好事例を創出

実現する社会像

- 異なる手法で取得したデータソースの組み合わせにより、**県・市町・大学・郵便局等の関係者が連携**した、地域住民に対し**パーソナライズ化した健康管理サポート**を実現。これにより、平均寿命・健康寿命の向上や疾病の抑制等を実現。
- ICTを通じたデータに基づく施策、**地場産業が伴走の主体**となる本取組を**健康管理分野以外に拡大**。県は、地域産業に係る地域DXの推進を主導。

